



「成年の宿題」

平成18年を占う意味でも、某お寺でおみくじ（本来は御佛籤でしょうが）を引いてみました。その結果はといいますと『大吉』でした。平成17年に引いたおみくじは『凶』だったため、引いた直後はおっラッキー！うれしいー今年はいいい年になるぞと思いましたが、よくよくおみくじの内容を読んでみると……。「天地に響く滝の流れの様に、運勢は昇天の勢いに恵まれています。しかし、有頂天になり驕り高ぶると一転して谷底に転落する凶事に見舞われます」とのことです。つまり「驕るな！謙虚であれ！」ということなのでしょう。身にしみる文章でした。しかも「谷底に転落する凶事」なんて書かれますと胸にグサツときます。このおみくじを読みながら、年齢を重ねていくほど『謙虚』になることが大切だと、最近ほとほと感じております。

私自身のことで振り返ってみても、社会人となり十数年、経験もそこそこ（笑）積ませていただき、職場でも自分より年下のひとと組むことが多くなっています。場合によってはリーダーシップをとらせていただくことも以前より多くなりました。そんな時、言葉の上でも行動でもついつい言いすぎたり、出しゃばったり、驕ったりしていることが全くないとは言えません。家族に対してもそうです。お互い長く付き合っ

ているからでしょうか。家族という「甘え」からくるからでしょうか。傲慢な態度をとってしまうということがないとはいえません。後から「あ————ちょっとマズカッタかなあ？？言いすぎたなあ」と反省することが最近もありました。……！「驕るな・謙虚であれ」と私への戒めの言葉のようにも感じ、おみくじはいつも持ち歩いているシステム手帳にはさんでおります。

さて、その人の驕りとは恐ろしいものだという実感をニュースが、今年に入り次々と飛びこんできました。ライブドア堀江貴文（前）社長の逮捕に驚愕し、東横インの不正改造で会見した西田憲正社長の、あまりに無神経な会見に啞然としました。「驕り高ぶり谷底へ落ちる」というのは本当のことなのかもしれないと、あらためておみくじをみかえしてみました。人生経験を積むごとに、1年1年すぎるごとに、「謙虚」という重さも感じていかなければいけないんですよ。

今年2006年は成年のなかでも丙戌（へいじゅつ、ひのえ・いぬ）の年だそうです。文字的には「丙」の上の一は思い切って伸びる陽気を表し、冂はかこいを表すし、それに「人」という字があるので陽気が囲いの中に入る、つまり物は盛んになりっぱなしということはない、ということはこの字

つもちゃんの

ドク
バタ
ラジオ日記

は表しているのだそうです。つまり、物事は、盛んな時に必ず衰える兆しを含んでいるため、盛んになったからといって、有頂天になることをもっとも愚としているのだそうです。「戌」は、戌申の戌に一を加えたもので、戌と同義語だそうです。枝葉末節が茂って、日当たりが悪くなり、風が通らなくなることで、いわゆる末梢的煩瑣と

か、過剰を表す文字でなんだそうですね。このふたつの意味をもつ「丙戌」の年は、有頂天にならず、さらにいままでいい加減にしてきた物事がはっきりさせ、事柄を大整理する年ということになるのだとか？うーん考えさせられます。「謙虚と整理」が今年の私の宿題です。

お す す め 取材日記

「COMO-NO-KAGU」

正方形が基本の家具屋さんです。もともと婚礼家具職人だった菰淵さんが小物専用の家具を作り始めて3年になるとか。ひとつの引き出しの大きさは、CDがきちんと収まる大きさ。この正方形を組み合わすことによって様々な小物家具が生まれます。

引き出しの色も約17色。色も好きに選べます。またオーダーにも対応してくれる、なんともありがたい家具屋さんなのです。

店舗はありません。週末に高松市丸亀町の新生銀行前でお店を開いております。

<お問い合わせ> FAX 087-835-1475 <http://www.kln.ne.jp/ann/como.html>

